

第6期 第2四半期ご報告

2014.4.1 ▶ 2014.9.30



ICDAホールディングス株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には日ごろから暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第6期第2四半期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は、2014年6月20日に東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。

第6期第2四半期では、ホンダカーズ三重北四日市松本店及びPOINT⑤四日市松本店のオープンとアウトディ三重四日市のリニューアルオープンをいたしました。しかしながら消費増税の影響に加え、中古車相場下落により減収減益となりました。国内の自動車販売市場の回復が遅れていますが、今後は、基盤収益(手数料・保険・割賦・メンテナンス・アフターサービス)を強化し、自動車流通バリューチェーンクロス・ミックスビジネスを拡大してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2014年12月

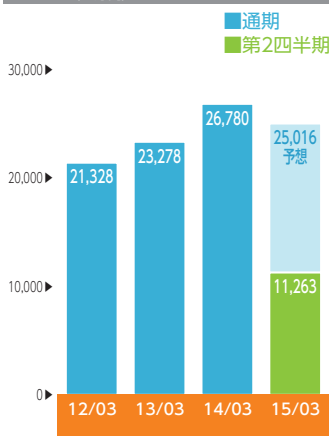
代表取締役社長 向井 弘光

業績ハイライト

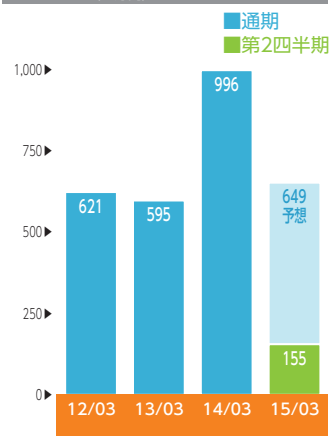
当第2四半期のポイント

- 消費税増税の影響を受け販売台数が減少
- オークション市場の価格低迷により減収減益へ

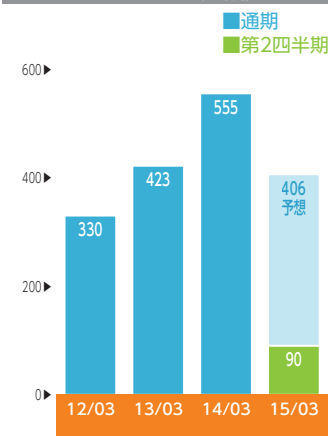
売上高(百万円)



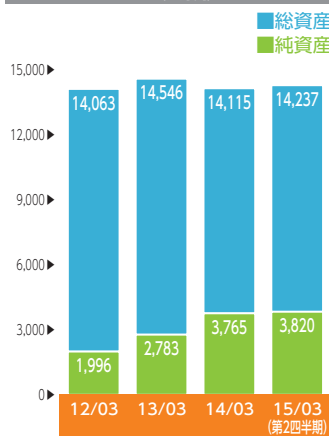
経常利益(百万円)



四半期(当期)純利益(百万円)



総資産・純資産(百万円)



トピックス

2014年6月20日に東京証券取引所市場第二部へ市場変更いたしました。



2014年7月25日及び26日に名証IRエキスポ2014に出展いたしました。



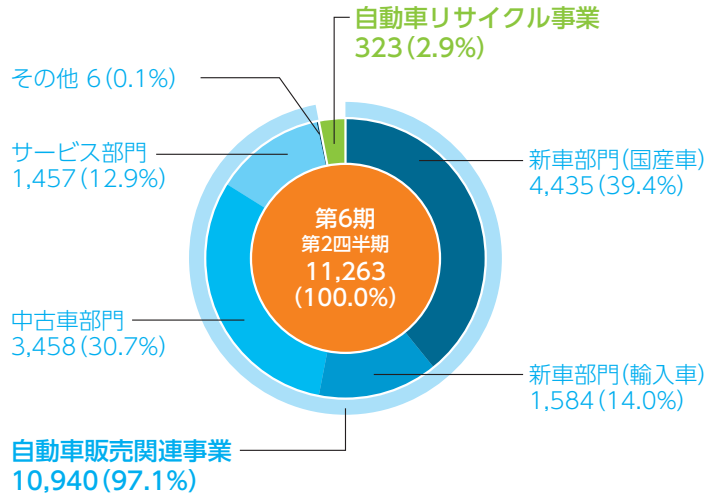
事業紹介

当社グループは、本田技研工業株式会社の新車ディーラーを中心に新車・中古車の販売を行う株式会社ホンダ四輪販売三重北、輸入車の新車ディーラー・中古車の販売を行う株式会社オートモール、自動車のリサイクルを行う株式会社マーク・コーポレーションの連結子会社3社及び純粋持株会社である当社により構成されております。

グループ間にて新車販売・中古車販売・中古車買取・アフターサービス・リサイクルの流通経路を網羅することで、最終顧客であるお客様に向けて製商品やサービスの付加価値を最大化していくバリューチェーンビジネスを展開しております。当社グループの事業は、自動車販売関連事業及び自動車リサイクル事業のセグメントに分けられます。

事業別売上高構成比(連結)

単位:百万円



ICDAグループ

自動車に関わる国際的流通複合企業体
International Conglomerate of Distribution for Automobile

ICDAホールディングス株式会社

自動車販売関連事業

自動車リサイクル事業

株式会社ホンダ四輪販売三重北

- ホンダカーズ三重北 ●ホンダオートテラス
- ヴァーサス ●POINT⑤



Honda Cars 三重北

- 新車販売(本田技研工業株式会社 正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

株式会社オートモール

- フォルクスワーゲン ●アウディ三重
- ポルシェセンター鈴鹿 ●ヴァーサス
- POINT⑤



AutoMall

- 新車販売(フォルクスワーゲン・アウディ・ポルシェ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

株式会社マーク・コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

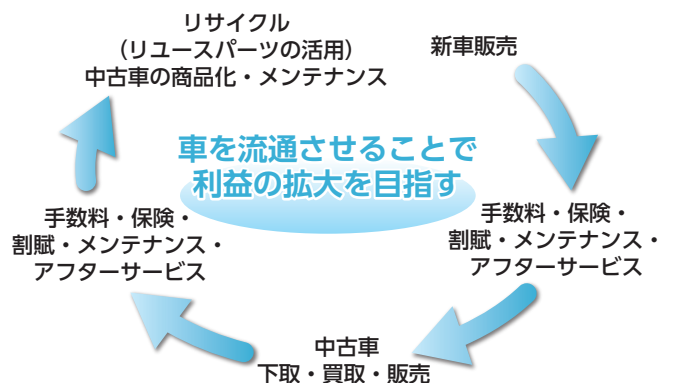


鈴鹿オートリサイクルセンター

- リユースパーツ販売(国内リユースパーツ販売・海外リユースパーツ販売)
- リサイクル資源販売

事業の特徴

新車店舗及び中古車店舗ホンダオートテラス・ヴァーサス・POINT⑤等での下取車・買取車は、車種や状態等に合わせ、グループ内の最適な経路で効率良く流通させています。車買取のPOINT⑤や鈴鹿オートリサイクルセンターをグループ内に有することで、中古車販売時に以前お買い上げいただいた中古車を他社より高値(市場価格)で下取したり、低年式車や多走行車の買取も可能となります。このようにお客様が車を売りやすい仕組みを持っているため、中古車の確保に加え、中古車から中古車への乗換も可能となり、中古車販売にも繋がり自動車流通のバリューチェーンの構築が可能となっています。



鈴鹿オートリサイクルセンター(レアアース磁石回収システム)のご紹介

自動車業界においては、近年ハイブリッドなど環境に配慮した車両の需要が高まっており、今後ますます販売台数が伸びると予測されます。ハイブリッド自動車にはネオジムやジスプロシウムなどのレアアースを含む高性能磁石が搭載されており、その希少性により、リサイクルシステムの構築が急務となっています。

株式会社マーク・コーポレーションは、2012年から三菱マテリアル株式会社と株式会社ホンダトレーディングの3社で協力し、「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(以下、「NEDO」といいます。)の助成事業において「使用済み自動車からの希少金属回収技術開発」と称し、使用済みモーターからの高性能レアアース磁石リサイクル技術開発に取り組みました。

NEDOの助成事業は2014年4月に株式会社マーク・コーポレーションへ承継され、引き続きレアアース磁石の回収システムの技術開発を行っていくこととなりました。

2014年6月、この事業を推進していくうえで、セメント・非鉄金属事業等を営む総合素材メーカーであり、家電リサイクルでレアアース磁石のリサイクルを展開している三菱マテリアル株式会社に株式会社マーク・コーポレーションの第三者割当増資の引き受けをしていただき、今後も共同で技術開発を進めることで合意いたしました。



クローズアップ

ICDAホールディングスの成長ビジョン

ICDAの
戦略

～バリューチェーンクロス・ミックスビジネスの 確立を経て、次なるステージへ～

人材の確保・育成

当社グループは、モビリティの販売・サービスに加え、自動車リサイクルという多岐にわたる分野において、優秀な人材を確保し、継続的な社員教育を推進していくことが重要であると認識しております。

自主企画車 (PBカー)の製作

地元(鈴鹿市)試作開発企業・鈴鹿オートリサイクルセンター・ICDAグループ中古車部門が協力し、自主企画車を製作しました。今後は、中古車カスタマイズ工場設置を計画しております。

八野モータープール (鈴鹿市)の活用

自動車業界において問題となっている路上積み下ろしを解消。今後の活用方法として、グループの新車・中古車デポボックスセンターが挙げられます。

新規出店の推進

出店余地がある三重県でのドミナント出店を推進。中期的にはM&Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大。



鈴鹿サーキットマイカーランを実施しました。

2014年6月25日の株主総会終了後に、世界の鈴鹿のコースを楽しんでいただきたいとの思いから、鈴鹿サーキット「国際レーシングコース」のフルコース約5.8kmを貸切り、株主の皆様がマイカーで走行できる催しを開催しました。さらに、当社が取り扱う、ホンダ・ポルシェ・アウディ・フォルクスワーゲンの試乗車を約20台準備し、マイカーでの走行後に試乗車へ乗り換えていただき、2回目の走行にもチャレンジしていただきました。



コーポレートデータ (2014年9月30日現在)

商号	ICDAホールディングス株式会社 International Conglomerate of Distribution for Automobile Holdings Co.,Ltd.
設立	2009年10月1日
資本金	1,161百万円
決算期	3月31日
事業内容	自動車販売関連事業及び自動車リサイクル事業を 行う子会社の経営管理業務
従業員数 (グループ会社)	ICDAホールディングス株式会社：18名 株式会社ホンダ四輪販売三重北：239名 株式会社オートモール：92名 株式会社マーク・コーポレーション：28名 グループ総合計：377名

役員

代表取締役社長	向井 弘光
代表取締役副社長	向井 俊樹
取締役	江藤 隆仁
取締役	新堂 智康
取締役	小村 則昭
取締役	黒田 悟郎
常勤監査役	桶本 進
監査役	伊藤 保元
監査役	山川 明伸

株式の状況

発行可能株式総数	6,000,000株
発行済株式の総数	2,099,969株 (自己株式31株を除く)
単元株式数	100株
株主数	996名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エム・エフ	500,670	23.84
向井 俊樹	281,430	13.40
向井 弘光	272,510	12.98
ICDAグループ社員持株会	158,068	7.53
向井 なよ子	83,970	4.00
株式会社百五銀行	63,000	3.00
株式会社三重銀行	42,000	2.00
向井 崇	40,000	1.90
向井 未安	29,540	1.41
滝本 理絵	27,000	1.29

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
定時株主総会の 基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の 基準日	3月31日 9月30日 (中間配当を実施する場合)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることが出来ない 場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する 方法とする。 〈電子公告掲載URL〉 http://www.icda.jp/
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部
証券コード	3184

〒513-0802
三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1
TEL: 059-381-5540

ICDAホールディングス株式会社



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境保全のため、FSC® 認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

